

土地の所在 所在：高松市香西北町500-4の一部、500-11、502-1、502-2、503及び地先水路

# 土地利用計画図

開発許可  
年月日

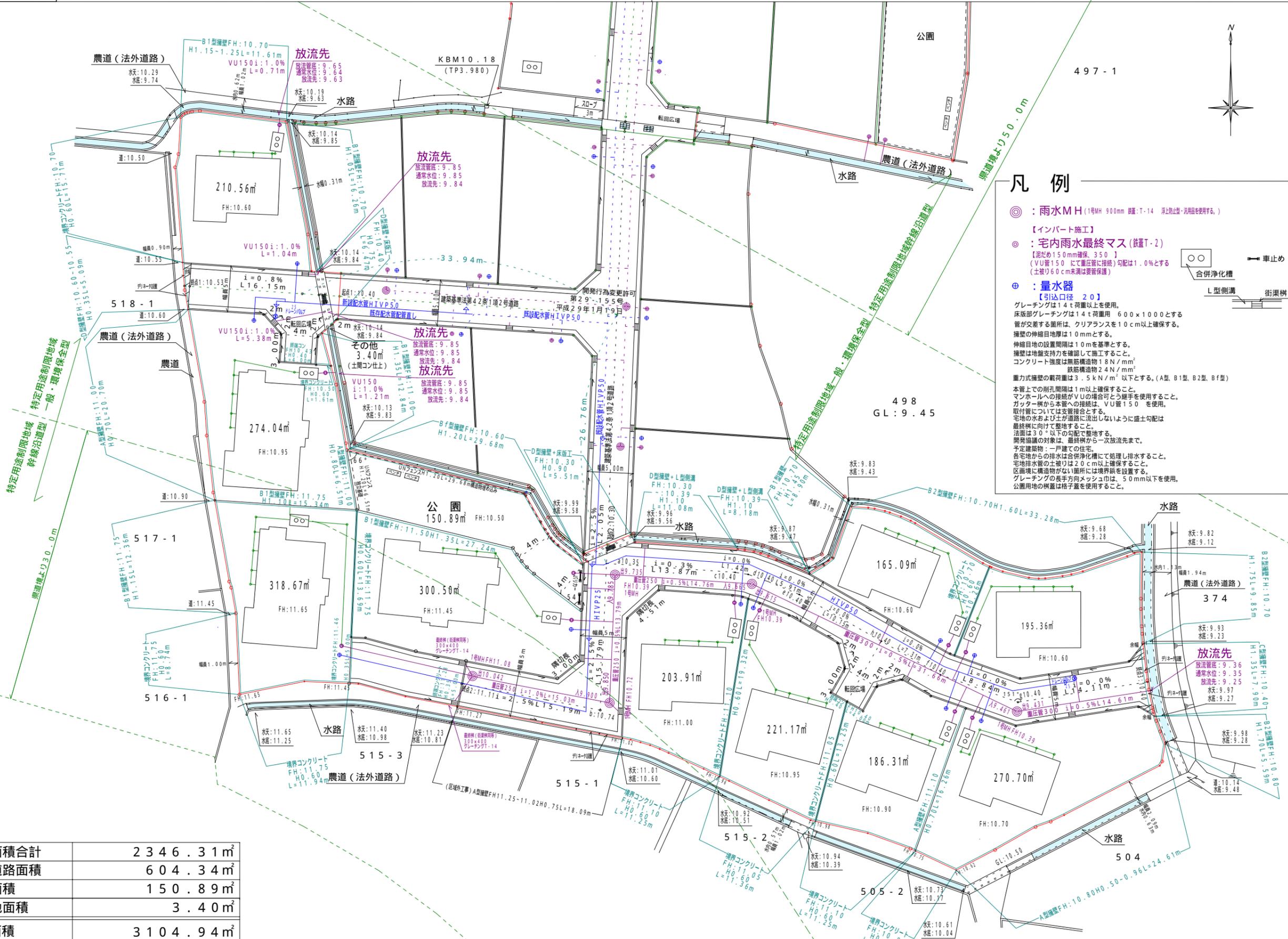
第 令和 年 月 日  
号 日

申請者

代表取締役  
徳田 芳和

作成者  
住所・氏名

高松市国分寺町新名4409  
土地家屋調査士 西井俊二



### 凡例

- ◎：雨水MH (1号MH 900mm 鉄蓋：T-14 浮上防止型・汚濁を使用。)
- 【インバート施工】
- ：宅内雨水最終マス (樋T-2)
  - 【径150mm確保、350】
  - (VU管150にて垂直管に接続) 勾配は1.0%とする
  - (土盛り60cm未満は要確保)
- ⊕：量水器
  - 【引込口径 20】

グレーチングは14t荷重以上を使用。床版部グレーチングは14t荷重用 600×1000とする。管が交差する箇所は、クリアランスを10cm以上確保する。擁壁の伸縮目地厚は10mmとする。伸縮目地の設置間隔は10mを基準とする。擁壁は地盤支持力を確認して施工すること。コンクリート強度は無筋構造物 18N/mm<sup>2</sup> 鉄筋構造物 24N/mm<sup>2</sup>。重力式擁壁の載荷重は3.5kN/m<sup>2</sup>以下とする。(A型、B1型、B2型、Bf型)

本館上での掘削間隔は1m以上確保すること。マンホールへの接続はVUの場合可とう継手を使用すること。ガッター側から本管への接続は、VU管150を使用。取付管については支管接続とする。宅地の水および土が道路に流出しないように盛土勾配は最終樹に向けて整地すること。法面は30°以下の勾配で整地する。開発協議の対象は、最終樹から一次放流先まで。予定建築物：一戸建ての住宅。宅地からの排水は合併浄化槽にて処理し排水すること。宅地排水管の土盛りは20cm以上確保すること。区境に構造物がない箇所には境界線を設置する。グレーチングの長手方向メッシュ巾は、50mm以下を使用。公園用地の樹蓋は格子蓋を使用すること。

宅地面積合計	2346.31m <sup>2</sup>
開発道路面積	604.34m <sup>2</sup>
公園面積	150.89m <sup>2</sup>
その他面積	3.40m <sup>2</sup>
開発面積	3104.94m <sup>2</sup>

縮尺 1/400

作製：平成31年 4月 3日